

か、かゆいとかいう自覚症状がほとんどありません。自覚症状が現れるのは、ガン細胞がある程度成長して、ガンという病気に近づいてからです。

それだけに、ちょっとした症状があると、「もしやガンでは」と心を痛めがちです。

しかし、初期のうちにガンであることをはっきりつかんでしまえば、それほど恐い病気ではありません。

早期に手術すれば、ほとんど100%治ります。

市内の主婦 A子さん(37歳)は、「昨年7月、子宮ガンの検診を受けガンであることがわかり、驚きました。早期発見のため、手術も成功し元気に生活しています。私がもし、検診を受けていなかったら——と思うとゾッとします。本当にありがとうございました。」と市健康課へ手紙を出しています。

このように問題は早期発見です。これには、定期的に検診を受けるしか方法はありません。



定期的な健康診断を

胃のレントゲン検査には巡回車が



高血圧は十分注意

脳卒中は、脳の動脈が破れたり、つまったりして起こる発作のことで、破れると脳出血となり、つまると脳こうそくとなります。この2つは、症状がよく似ているので、合わせて脳卒中といいます。

今まで、成人病の中では最も多く、市内では、死亡者の約22%を占めています。高血圧の人がかかりやすく、年齢的には45歳ごろからで、60歳以上になると急激に増えています。

防ぐには、日常の自分の血圧を測り知っておくことが大切です。

食事では、塩分をひかえめにするよう心がけましょう。

ガン・脳卒中について多いのが心臓病です。

心臓は、全身へ休みなく血液を送り出すポンプの働きをしています。

心臓は筋肉でできていて、その根元を走っている冠状動脈の血液で養われています。この冠状動脈の壁に動脈硬化が起こって通り道が狭くな

ると、心臓の筋肉に十分酸素がいきわたらなくなり、狭心症や心筋こうそくのような発作が起こります。

年齢的には、やはり45歳すぎからかかりやすく、高齢になるほど増えています。防ぐには、日ごろの定期検診が大切です。

定期検診を受けよう

このような成人病を防ぐため市は、ガン検診(胃ガン、子宮ガン)、循環器検診などを行っています。

胃ガン検診については、町内会長さん、婦人会を通じて申込み受付をし、巡回車による検診を実施。

子宮ガン検診については、市内の各産婦人科で実施していますので、直接、病院へ申込んでください。

循環器検診については、胃ガン検診と同様の申込み方法です。

成人病は、除々にしのびより、気がつかないうちに進行する病気です。

自分の健康を守るため、定期的な健康診断を受けましょう。

市スポーツ祭山岳大会

- ◇とき 11月8日(日) (雨天中止)
- ◇集合場所と時間
勢子辻バス停前 9:00
- ◇コース 勢子辻バス停前9:30出発
→呼子岳縦走→同バス停15:30解散
- ◇対象者 市に在住・在勤する人
- ◇参加料 無料
- ◇申込み、問合せ先 吉原2丁目11-15 富士市山岳協会 ☎52-4003



昨年の技能フェスティバル

勤労者文化祭の

開催と作品募集

市内で働く勤労者の文化祭を10月17日・18日の2日間、パピー4階催事場で開催します。(第3回 富士市技能フェスティバルを同時開催)

作品募集は次のとおりです。

- ☆応募作品 油絵、水彩画、日本画
以上30号以下。写真、書道
- ☆申込み先 労働金庫富士支店